

東京言語研究所

特別集中講義のご案内

東京言語研究所では、言語学の研究者の方々ならびに言語学に興味をお持ちの方々を対象に〔理論言語学講座〕をはじめとして様々な講座を開設しております。〈特別集中講義〉は、多様な研究領域に関して、より多くの方々の受講が可能な条件を勘案し企画しております。ぜひご参加ください。

〈演題〉 生成文法からみた第二言語獲得研究 —日本人英語使用者(学習者)の諸問題—

〈講師〉 遊佐 典昭 氏 [宮城学院女子大学英文学科教授]

〈日時〉 2012年 9月 15日(土) 13:00~18:20
16日(日) 10:30~16:20

〈会場〉 東京言語研究所 (新宿区西新宿 6-24-1 西新宿三井ビル13階)

〈参加費〉 一般 12,000 円

学生・大学院生・2012 年度理論言語学講座受講生 9,000 円

〈申込み〉 メールまたは FAX にて下記をご連絡下さい。(定数:先着50名)

- ①特別集中講義受講希望 ②氏名 ③住所 ④電話番号 ⑤メールアドレス
⑥区分(会社員・教職員・大学院生・大学生・その他)

※ この情報は受講手続きにのみ使用いたします。

講師紹介: 1955年生まれ。現在、宮城学院女子大学英文学科教授。専門は、生成文法理論、第二言語獲得、言語の認知脳科学。論文・著書に、"Second-Language Instinct and Instruction Effects: Nature and Nurture in Second Language Acquisition" (共著) (*Journal of Cognitive Neuroscience*, 2011年), 『言語と哲学・心理学』(編, 朝倉書店, 2010), 『はじめて学ぶ言語学』(ミネルヴァ書房, 分担執筆, 2009) などがある。

○ 問合せ先

東京言語研究所

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル16階

TEL:03-5324-3420 FAX:03-5324-3427

E-mail:info@tokyo-gengo.gr.jp ホームページ:<http://www.tokyo-gengo.gr.jp/>

<講義内容>

人がことばを産出して理解できるのは、脳内にこれを可能とする言語知識が存在するからであり、この言語知識を生成文法は研究対象としています。このように研究対象を脳内の言語知識に限定することで、生成文法は、母語話者の言語直観はもちろん、比較統語論、母語獲得、構文解析、神経生理学など多くの領域から、潜在的に反証される可能性を有することになります。この研究領域に、1980年代中頃から第二言語獲得(second language acquisition, SLA)研究が実質的に加わりました。生成文法に基づいたSLA研究を『普遍文法に基づく第二言語獲得(UG-based SLA)研究』あるいは、『生物言語学としてのSLA研究』とよびます。SLA研究で、一貫して論点となっているのは、普遍的特質と母語の役割です。また、SLAと母語獲得は根本的に異なるのかも重要な論点です。

本講義では、これらの点を考量しながら、日本人英語使用者(学習者)が有する英語知識を、生成文法の観点から分析することで、言語学がいかにSLA研究に貢献できるのかを考察したいと思います。また、UGに基づいたSLA研究は、教室での英語教育にどのような貢献が可能かについても議論したいと思います。生成文法の基礎から話をしますので、言語学やSLAを学んでいる人だけではなく、いろいろなバックグラウンドを持つ方に受講してもらえたらと思っています。

参考文献：

遊佐典昭(2012)[第2版]「第二言語獲得」遊佐(編)『言語と哲学・心理学』(朝倉書店)

講義内容(変更の可能性あります)

- 1 生成文法理論の基礎
- 2 生成文法理論と第二言語獲得研究
- 3 事例研究(1):動詞、時制獲得の問題点
- 4 事例研究(2):主語の問題点
- 5 事例研究(3):冠詞獲得の問題点
- 6 第二言語獲得研究と、脳科学、英語教育の接点

15日(土)

13:00 開講式
13:10 講義一1
14:40 講義一1終了 休憩
15:00 講義一2
16:30 講義一2終了 休憩
16:50 講義一3
18:20 講義一3終了

16日(日)

10:30 講義一4
12:00 講義一4終了 休憩 昼食
13:00 講義一5
14:30 講義一5終了 休憩
14:50 講義一6
16:20 講義一6終了